

自動車向けが順調に拡大、従来予想を小幅増額

リサーチノート

(株) QBR
豊田 博幸

主要指標 2014/03/07 現在

株 価	385 円
発行済株式数	4,618,520 株
時 価 総 額	1,778 百万円

直前のレポート発行日

ベーシック	2013/12/13
アップデート	—

業 績 動 向		売上高 百万円	前期比 %	営業利益 百万円	前期比 %	経常利益 百万円	前期比 %	当期純利益 百万円	前期比 %	EPS 円
2013/03	実 績	4,789	-4.4	135	-44.3	139	-34.0	76	5.4	16.88
2014/03	会 社 予 想 (2014年2月発表)	5,580	16.5	280	106.7	288	106.4	150	95.4	32.98
	アナリスト予想	5,600	16.9	290	114.1	300	115.0	150	95.4	32.98
2015/03	アナリスト予想	6,150	9.8	370	27.6	360	20.0	210	40.0	46.18

投資負担吸収し、14/3期3Q累計は17%増収、営業利益は2.1倍

14/3期3Q累計の連結業績は、売上高が前年同期比16.6%増の41.9億円。事業セグメント別に売上高をみると、工業用ゴム事業が同17.7%増。自動車生産台数の堅調な拡大を背景に主力の「ASA COLOR LED」の拡大が貢献した。医療・衛生用ゴム事業は同12.4%増。利益面では、マイクロ流体チップなど新製品立ち上げに伴う費用負担などを、全社的な経費節減・見直し効果により吸収し、営業利益は同2.1倍の2.4億円、純利益は同85.2%増の1.4億円になった。

会社は従来計画を小幅増額

3Q累計実績は社内計画をわずかながら上回ったようだ。足元の受注も順調な模様で、会社は従来計画を増額修正した。売上高が55.0億円→55.8億円(前期比16.5%増)、営業利益が2.2億円→2.8億円(同2.1倍)、純利益が1.2億円→1.5億円(同95.4%増)に見直した。4Qに入り、医療・衛生用ゴム事業の受注がやや弱いようだが、「ASA COLOR LED」が自動車向けに健闘。全社では従来計画を上回る受注を獲得しており、14/3期売上高を増額。利益面では売上増額に加え、原価低減効果で、新製品立ち上げに伴う費用を吸収するとして営業利益を増額。純利益は営業利益の増加に加え、為替差益の拡大なども見込み増額した。

足元の状況を踏まえ、QBR予想も増額

足元の受注が順調に拡大していることを踏まえると、会社計画はやや保守的と判断し、QBR予想も次のように増額する。QBRによる14/3期連結業績予想は売上高が55.5億円→56.0億円(前期比16.9%増)、営業利益が2.5億円→2.9億円(同2.1倍)、純利益が1.4億円→1.5億円(同95.4%増)に見直した。会社計画の見直し同様、「ASA COLOR LED」が自動車向けに健闘することが主因だ。会社計画に比較し、売上高および営業利益はわずかに上回るが、特別損失に事業改善費用などの計上があるとみて、純利益は同額に。続く15/3期も増額。売上高が60.5億円→61.5億円(前期比9.8%増)、営業利益が3.5億円→3.7億円(同27.6%増)、純利益が2.0億円→2.1億円(同40.0%増)に。「ASA COLOR LED」の好調に加え、マイクロ流体チップも貢献し、売上高を増額。費用も増大するが、原価低減で吸収するとして、利益も若干増額する。

ディスクレームー

1. 本レポートは、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）が実施する「アナリストレポート・プラットフォーム」を利用して作成されたものであり、東証が作成したものではありません。
2. 本レポートは、本レポートの対象となる企業が、その作成費用を支払うことを約束することにより作成されたものであり、その作成費用は、当該企業が東証に支払った金額すべてが、東証から株式会社QBR（以下「レポート作成会社」といいます。）に支払われています。
3. 本レポートは、東証によるレビューや承認を受けておりません（ただし、東証が文面上から明らかに誤りがある場合や適当でない場合にレポート作成会社に対して指摘を行うことを妨げるものではありません）。
4. レポート作成会社及び担当アナリストには、この資料に記載された企業との間に本レポートに表示される重大な利益相反以外の重大な利益相反の関係はありません。
5. 本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的として作成されたもので、有価証券の取引及びその他の取引の勧誘又は誘引を目的とするものではありません。有価証券の取引には、相場変動その他の要因により、損失が生じるおそれがあります。また、本レポートの対象となる企業は、投資の知識・経験、財産の状況及び投資目的が異なるすべての投資者の方々に、投資対象として、一律に適合するとは限りません。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、投資者ご自身の判断でなされるようお願いいたします。
6. 本レポート作成にあたり、レポート作成会社は本レポートの対象となる企業との面会等を通じて、当該企業より情報提供を受けておりますが、本レポートに含まれる仮説や結論は当該企業によるものではなく、レポート作成会社の分析及び評価によるものです。また、本レポートの内容はすべて作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
7. 本レポートは、レポート作成会社が信頼できると判断した情報に基づき記載されていますが、東証及びレポート作成会社は、本レポートの記載内容が真実かつ正確であり、そのうちに重要な事項の記載が欠けていないことやこの資料に記載された企業の発行する有価証券の価値を保証又は承認するものではありません。本レポート及び本レポートに含まれる情報は、いかなる目的で使用される場合におきましても、投資者の判断と責任において使用されるべきものであり、本レポート及び本レポートに含まれる情報の使用による結果について、東証及びレポート作成会社は何ら責任を負うものではありません。
8. 本レポートの著作権は、レポート作成会社に帰属しますが、レポート作成会社は、本レポートの著作権を東証に独占的に利用許諾しております。そのため本レポートの情報について、東証の承諾を得ずに複製、販売、使用、公表及び配布を行うことは法律で禁じられています。

<指標の説明について>

本レポートに記載の指標に関する説明は、東京証券取引所ウェブサイトに掲載されております。

参照 URL ⇒ <http://www.tse.or.jp/listing/analystreport/index.html>